

第3章

前期5年間の成果と評価

- 1 基本目標Ⅰ 人と地域で支えあうまち
- 2 基本目標Ⅱ 人を育み人が活躍するまち
- 3 基本目標Ⅲ 人の暮らしを支えるまち
- 4 基本目標Ⅳ 時代を拓く新たな都市経営
- 5 市政に対する満足度とニーズ

「未来の光市」絵画コンクール
市長賞



「水のおいしい未来の私のまち」

上島田小学校 1年 藤井咲菜さん

前期5年間の成果と評価

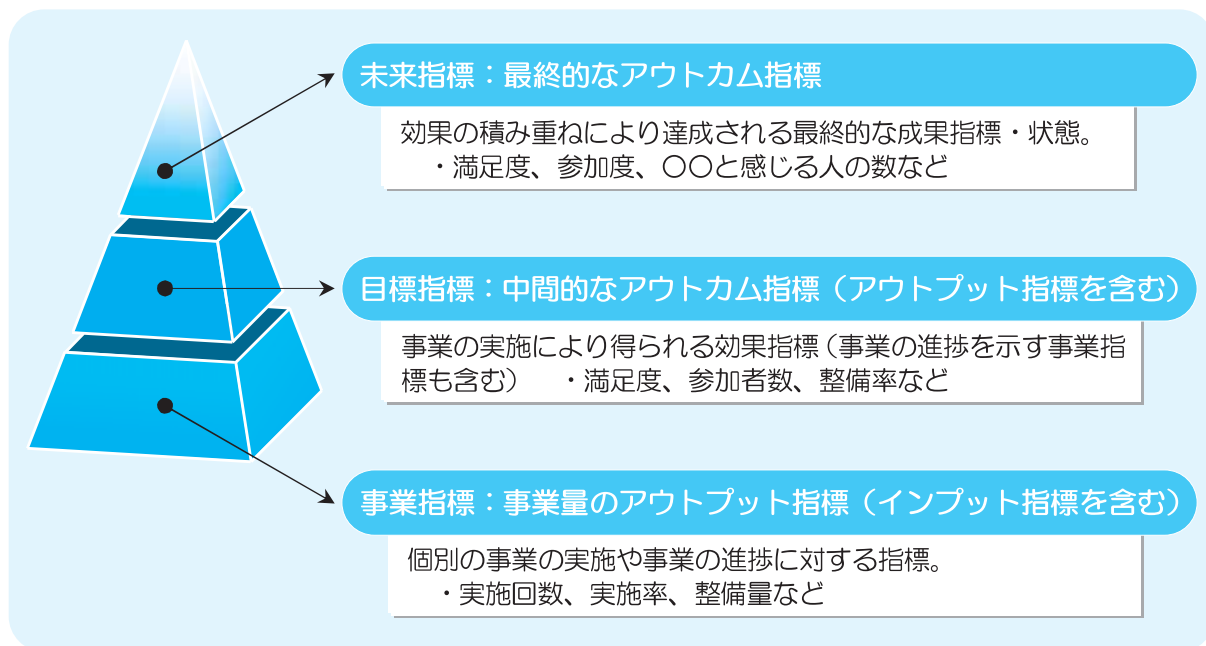
「前期基本計画」では、本市が展開する施策の代表的な目標値として、4つの基本目標ごとに全31項目からなる「ひかり未来指標」を設定し、その実現状況を明らかにすることにより、計画の実効性を確保してきました。

さらに、基本目標の下位に位置づけている「個別目標」についても、全156項目からなる「まちづくりの指標」により、施策展開による効果や成果を測ってきました。

「ひかり未来指標」は、これらの効果や成果の積み重ねにより達成される最終的なアウトカム指標（成果指標）となるものです。

また、こうした「ひかり未来指標」や「まちづくりの指標」の達成状況を把握し、計画の評価・検証につなげるため、「前期基本計画」策定後の平成19年度から「市民アンケート」を継続的に実施しています。

【ひかり未来指標の概念】



【市民アンケート調査 配布回収状況】

	配布数	有効配布数 A	回収数 B	回収率 B/A
平成19年度	1,000	995	407	40.9%
平成20年度	1,000	995	399	40.1%
平成21年度	1,000	993	405	40.8%
平成22年度	1,000	995	427	42.9%
平成23年度	1,000	995	414	41.6%

1 基本目標Ⅰ 人と地域で支えあうまち

【前期5年間の主な成果】

重点目標1 コミュニティで支える地域社会を築くために

- 地域コミュニティ活動や市民活動を促進するための拠点施設となる地域づくり支援センターの整備や、市内7公民館の地区自主運営方式への移行を進めるなど、基本構想に掲げるまちづくりの理念を踏まえた取組みにより、市民の自主的・主体的なコミュニティ活動や市民活動を支援しました。
- 市民参画のもとで、老朽化が進む室積公民館を地域コミュニティ活動の拠点施設として整備するための基本構想や、地域活力の低下が懸念される岩田駅周辺地区の総合的な整備に関する基本的な方針を策定しました。

重点目標2 互いに支えあい健やかに暮らすために

- 従来の計画から施設の機能や規模を見直し、市民福祉の向上と健康づくりを目的としたコンパクトな施設として、三島温泉健康交流施設の建設に着手しました。
- 子宮頸がんなどの女性特有のがんを予防するため、新たに自己負担なしでワクチン接種を実施するなど、地域保健の充実を図りました。
- 誰もが健やかで安心して暮らせる社会を実現するため、緊急通報体制や地域密着型介護施設の整備など、ハード・ソフトの両面から、高齢者への生活支援サービスや、障害者自立支援制度に基づいた適切な福祉サービスを提供しました。
- 高齢者等の外出支援や地域小売業の活性化を目的に、地域への宅配サービスや、住民の移動手段を確保するためのコミュニティ交通の整備に向けたモデル事業を実施しました。
- 急速な高齢化に伴う医療需要の変化に対応するため、光総合病院は急性期医療、大和総合病院は慢性期医療やリハビリ医療を担う病院へと機能分化を図ることとし、病棟の改修等を行いました。また、病院間の連携を強化するため、2つの病院を結ぶ直通バスの運行を開始しました。

重点目標3 認めあう共生の社会を築くために

- 人権施策推進審議会の答申に沿って、「人権施策推進指針」を策定し、市民一人ひとりの人権が尊重された心豊かな地域社会の実現に向けた考え方を示しました。

【ひかり未来指標】

	策定時① (H17. 18)	近況値② (H23)	前 期 目標値 @ (H23)	進捗率 (②/①-1) × 100	達成率 ②/① × 100
市民活動支援に関する「満足度」 ※（「地域コミュニティ活動の支援」に関する満足度＋「市民団体やNPOの育成」に関する満足度）÷ 2（市民アンケート調査）	7.6%	14.0%	12.5%	84.2%	112.0%
市民の自治活動への「参加度」 ※（自治会や公民館活動に参加している人の割合＋まちづくり活動に参加している人の割合）÷ 2（市民アンケート調査）	42.4%	48.6%	50.0%	14.6%	97.2%
NPO 法人の数 ※NPO法人認証数	13 団体	14 団体	20 団体	7.7%	70.0%
市民の健康づくりへの「取組み」 ※普段から健康に心がけている人の割合（市民アンケート調査）	85.7%	88.6%	90.0%	3.4%	98.4%
福祉対策に関する「満足度」 ※（「高齢者福祉対策」に関する満足度＋「障害者福祉対策」に関する満足度）÷ 2（市民アンケート調査）	15.4%	26.7%	20.0%	73.4%	133.5%
市民の福祉活動への「参加度」 ※福祉ボランティアに参加している人の割合（市民アンケート調査）	—	12.6%	20.0%	—	63.0%
光市への「愛着感」 ※光市に愛着感を持っている人の割合（市民アンケート調査）	68.2%	74.6%	75.0%	9.4%	99.5%

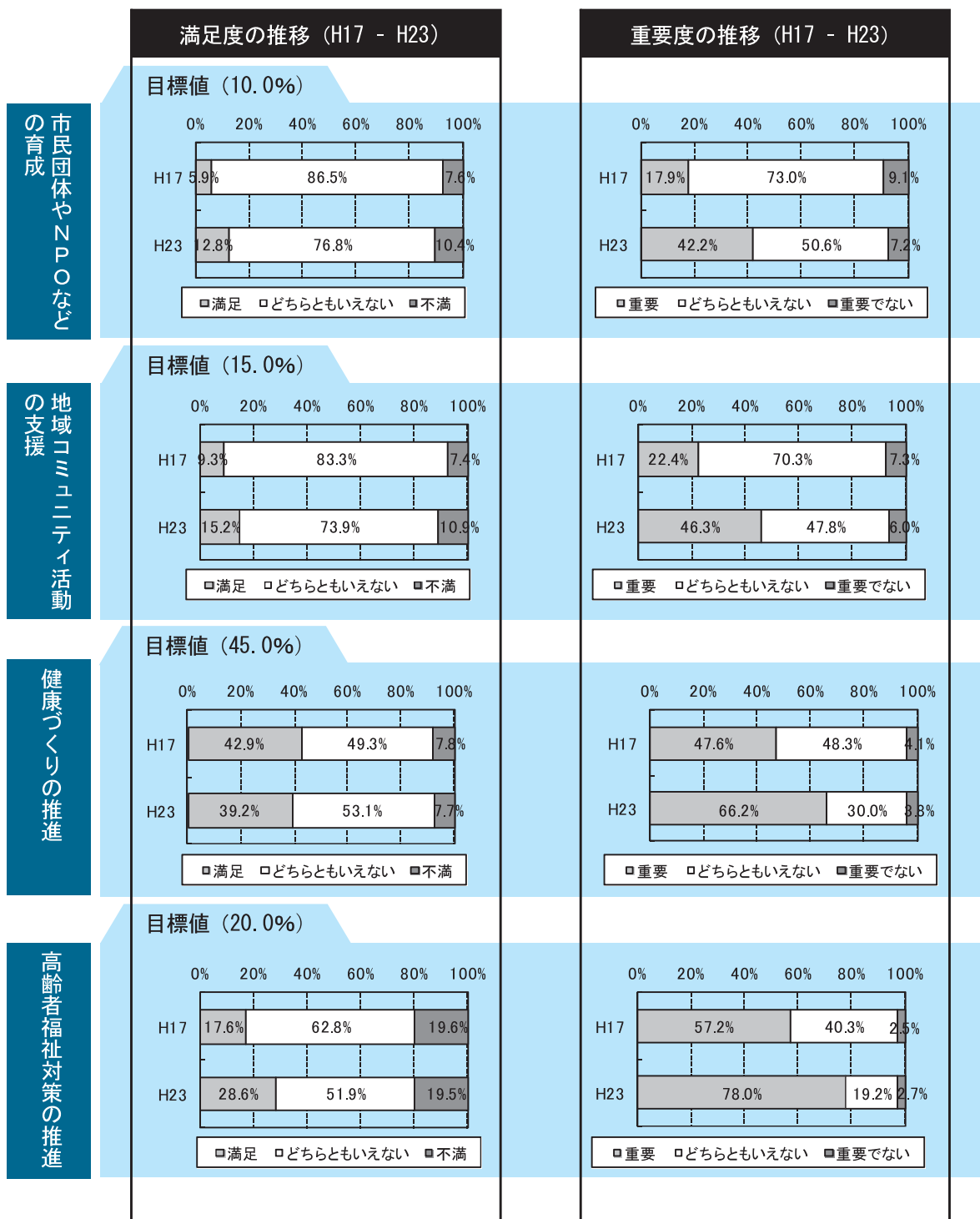
【まちづくりの指標】

	指標の数	達成率（平成 23 年）			
		100%超	80%～100%	50%～80%	50%未満
重点目標 1 コミュニティで支える地域社会を築くために	11	5	5	1	0
重点目標 2 互いに支えあい健やかに暮らすために	19	7	9	3	0
重点目標 3 認めあう共生の社会を築くために	5	2	2	1	0
合 計	35	14	16	5	0

※ 「進捗率」は、総合計画策定時からの数値の伸びの度合い

※ 「達成率」は、前期目標値に対する到達の度合い（達成率が100%を超えていれば、前期の目標値に到達していると判断できます）

【満足度と重要度の推移】



※ 目標値は、満足度の前期 (H23) 目標値

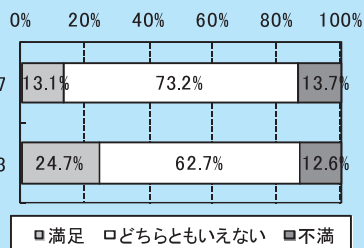
※ H23 の「満足」(不満) は、「満足」(不満) と「やや満足」(やや不満) を合わせた割合

※ H23 の「重要」(重要でない) は、「重要」(不満) と「どちらかと言えば重要」(どちらかと言えば不満) を合わせた割合

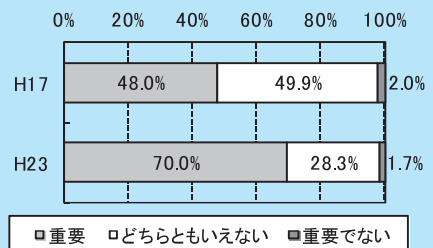
障害者福祉対策の推進

満足度の推移 (H17 - H23)

目標値 (20.0%)

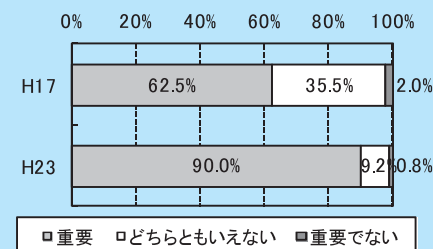
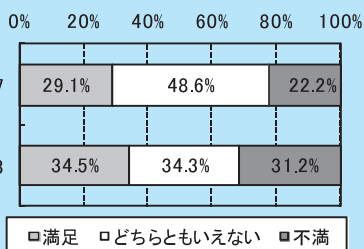


重要度の推移 (H17 - H23)



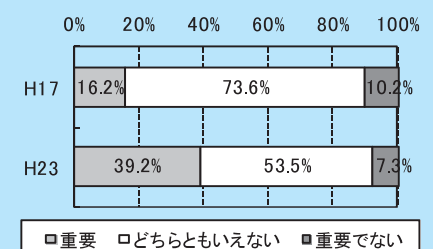
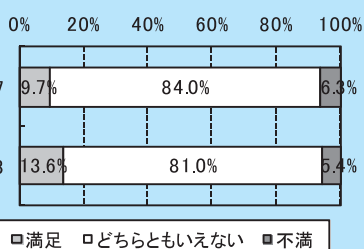
地域医療対策の充実

目標値 (35.0%)



男女共同参画の推進

目標値 (15.0%)



【前期5年間の評価】

- 「市民団体やNPOなどの育成」や「地域コミュニティ活動の支援」など、市民活動の支援に対する重要度が大きく増えるとともに、「市民活動支援に関する満足度」や「市民の自治活動への参加度」も着実に伸びています。地域づくり活動への市民の主体的な参加を後押しし、こうした流れを加速させていく必要があります。
- 「市民の健康づくりへの取組み」は、目標をわずかに下回るものの高い水準にあり、日頃から健康に心掛けている人が大変多いことが分かります。一方、「健康づくりの推進に関する満足度」は低下していることから、健康づくりに対する市民ニーズを適切に見極めていく必要があります。

- 「福祉対策に関する満足度」は上昇し、目標値を上回っていますが、高齢者福祉対策や障害者福祉対策について不満足と感じる人の割合は、策定時とほぼ同じ水準に留まっています。不満足度の解消を図るため、多様な福祉ニーズに的確に対応できる、きめ細かなサービスを推進していくことが求められます。
- 高齢者福祉対策や障害者福祉対策を重要と捉える人の割合は高い数値を示していますが、「市民の福祉活動への参加度」は目標を大きく下回っています。多様化する福祉ニーズへの対応を図るための手法の一つとして、福祉ボランティアの積極的な育成などが求められます。

「ひかり未来指標」のうち、目標値を大きく下回る「NPO法人の数」や「市民の福祉活動への参加度」については、有効な対策が求められます。しかし、他の項目は、目標値、あるいは目標値に近い水準に到達しており、こうした結果、「光市への愛着感」は、目標値近くまで高まっています。「まちづくりの指標」についても、35項目中の8割以上の30項目で達成率が80%を超えており、全体的には目標に沿って概ね順調にまちづくりが進んでいると考えられます。

2 基本目標Ⅱ 人を育み人が活躍するまち

【前期5年間の主な成果】

重点目標1 子どもを生み育てるために

- 子どもの健やかな成長の応援と子育て世代の経済的負担の軽減を図るため、一定の要件のもと、幼稚園または保育園に同時に2人以上入所した場合の保育料等の無料化や、中学3年生までの児童・生徒の入院時の医療費を助成するための制度を創設しました。
- 留守家庭児童教室（サンホーム）に入所する児童の保育環境を改善するため、入所定員を超過する、浅江、島田及び光井小学校に「第2留守家庭児童教室」を設置しました。
- 安全で安心な教育環境を実現するため、耐震診断や耐震補強工事など小中学校施設の計画的な耐震化や、公立幼保施設の耐震診断を実施しました。
- きめ細かで質の高い教育環境を整備するため、市独自の取組みとして、特に配慮を要する児童・生徒の支援を行う補助教員や、小学校5、6年生の外国語活動を支援する指導補助員を各学校に配置しました。
- 安全で栄養バランスが取れた学校給食の提供や、学校給食を通じた食育の推進などを目的に、老朽化が進む光・大和の学校給食センターを集約した新たな学校給食施設の整備に着手しました。

重点目標2 彩り豊かな人づくりのために

- 山口国体の成功に向けて、おもてなしの心で花いっぱい運動やクリーン運動などの市民総参加運動を展開するとともに、地域スポーツの振興と地域文化の発展を目的に、セーリング、バドミントン、レクリエーション卓球の3競技を開催しました。

重点目標3 かおり高い文化を育てるために

- 貴重な文化財である「石城山神籠石」を適切に保存管理し、後世に伝えるため、「史跡石城山神籠石保存管理計画」に沿って、石城山神籠石の土塁・列石に影響を及ぼす立木の伐採や、石垣の崩落を防ぐための計測管理に着手しました。
- 伊藤博文公の没後100年を機に、伊藤公が残した偉大な足跡を振り返るための事業を集中的に開催しました。

重点目標4 人の繋がりを広げるために

- 神籠石を有する自治体との連携による神籠石サミットの開催や、自然敬愛の心をもって、日本の豊かな自然を後世に伝える「日本の森・滝・渚全国協議会」の設立など、資源やまちづくりの理念を共有する他都市と連携した取組みを進めました。また、千葉県横芝光町との友好交流を進めました。

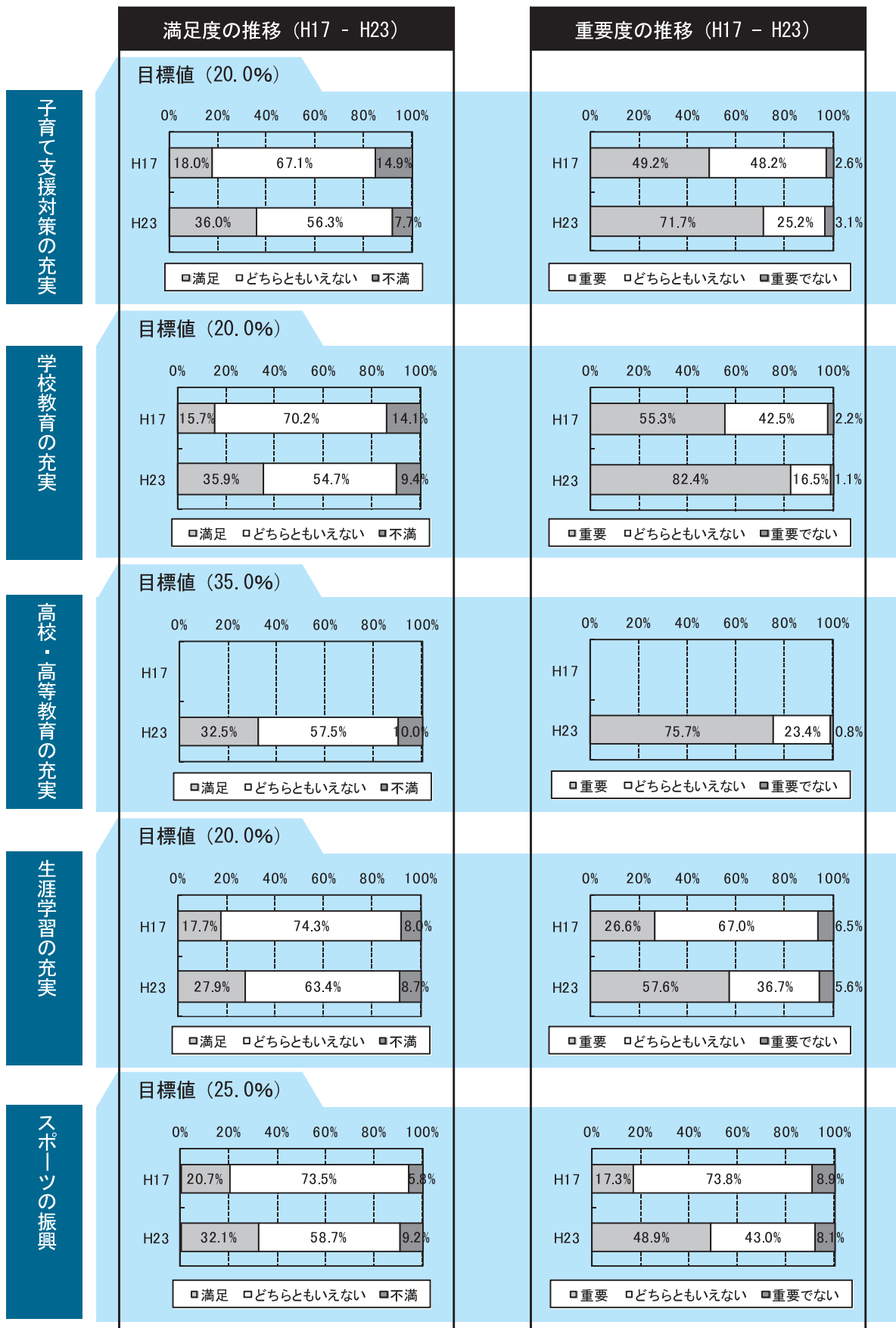
【ひかり未来指標】

	策定時① (H17. 18)	近況値② (H23)	前 期 目標値 @ (H23)	進捗率 (②/①-1) ×100	達成率 ②/@ ×100
子どもの育成に関する「満足度」 ※（「子育て支援対策の充実」に関する満足度＋「学校教育の充実」に関する満足度）÷2（市民アンケート調査）	16.9%	36.0%	20.0%	113.0%	180.0%
生涯学習・文化・スポーツ振興に関する「満足度」 ※（「生涯学習の充実」に関する満足度＋「スポーツの振興」に関する満足度＋「文化・芸術活動の振興」に関する満足度）÷3（市民アンケート調査）	18.7%	29.6%	21.7%	58.3%	136.4%
保育環境に関する「充実度①」 ※待機児童数	0人	0人	0人	—	100.0%
保育環境に関する「充実度②」 ※（延長保育実施率＋一時保育実施率＋障害児保育実施率）÷3	100.0%	97.2%	100.0%	△2.8%	97.2%
不登校児童生徒の割合	0.57%	0.82%	0.4%	△30.5%	48.8%
青少年健全育成活動への「参加率」 ※青少年健全育成活動に参加している人の割合（市民アンケート調査）	—	11.8%	20.0%	—	59.0%
光市の住みよさ ※光市が「住みよい」と感じている人の割合（住みよい＋まあまあ住みよい）（市民アンケート調査）	82.2%	82.6%	85.0%	0.5%	97.2%

【まちづくりの指標】

	指標の数	達成率（平成23年）			
		100%超	80%～100%	50%～80%	50%未満
重点目標1 子どもを生み育てるために	17	9	6	1	1
重点目標2 彩り豊かな人づくりのために	7	6	1	0	0
重点目標3 かおり高い文化を育てるために	4	2	2	0	0
重点目標4 人の繋がりを広げるために	4	0	3	1	0
合 計	32	17	12	2	1

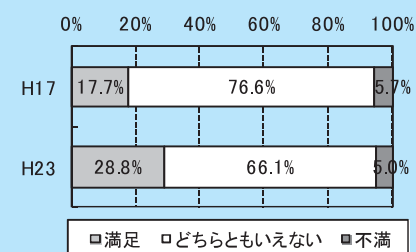
【満足度と重要度の推移】



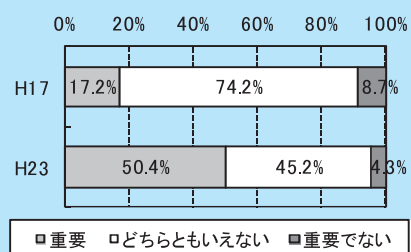
文化・芸術活動の振興

満足度の推移 (H17 - H23)

目標値 (20.0%)

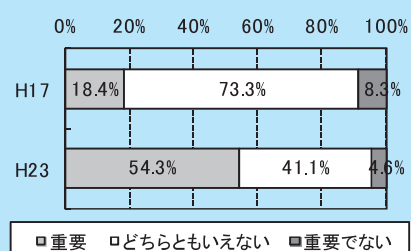
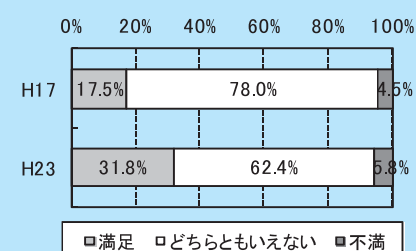


重要度の推移 (H17 - H23)



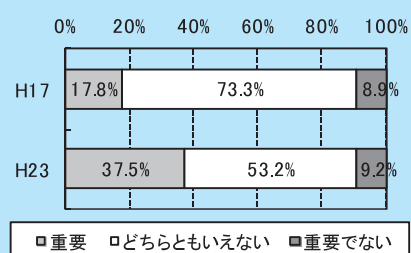
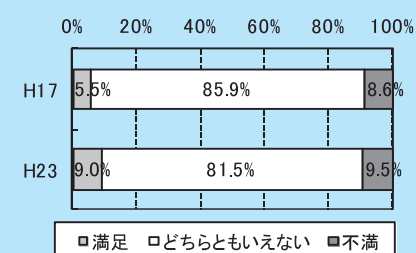
文化財の保存・活用

目標値 (20.0%)



国際交流の推進

目標値 (10.0%)



【前期5年間の評価】

- 「子育て支援対策」や「学校教育の充実」を重要と考える市民が大きく増える一方で、これらを合わせた「子どもの育成に関する満足度」は高まり、不満足と感じる人の割合は低下しています。子どもの育成に関しては、それぞれの成長過程を通じて一定の評価を得ていると考えられ、引き続き、市民ニーズを的確に反映した施策を進めていく必要があります。
- 生涯学習・文化・スポーツ振興に関しても満足度は高くなっており、一定の評価を得ているものと考えられます。
- 青少年を取り巻く環境が悪化する中、「青少年健全育成活動への参加率」が伸び悩んでいることから、これまで以上に家庭や学校・地域が連携し、青少年を健全に育成していくための気運を盛り上げていく必要があります。

「ひかり未来指標」のうち、「青少年健全育成活動への参加率」や「不登校児童生徒の割合」については改善を図る必要がありますが、他の項目については、目標値に到達、あるいは目標値に近い水準にあります。「まちづくりの指標」についても、32項目中の9割に当たる29項目で達成率が80%を超えており、全体的には目標に沿って概ね順調にまちづくりが進んでいると考えられます。

3 基本目標Ⅲ 人の暮らしを支えるまち

【前期5年間の主な成果】

重点目標1 快適な暮らしを営むために

- 都市計画道路虹ヶ丘森ヶ峠線の浅江・島田間や川園線などの幹線道路、市民生活に密着した生活道路の計画的な整備を進めるとともに、県の河川改修事業と連携した三島橋の架け替えを進めました。
- 冠山総合公園の園内施設や「果実の里」の整備を行うとともに、子どもが楽しめる空間として遊具を備えた「子どもの森」を整備しました。
- 市営緑町住宅の建替えを計画的に進め、全84戸を整備しました。
- 水道水の安定的な供給を行うため、大和簡易水道や上ヶ原簡易水道、岩屋・伊保木簡易水道を上水道に統合しました。

重点目標2 自然を守り育むために

- リサイクルセンター「エコぱーく」を拠点に、ごみの減量化や再資源化を促進するとともに、粗大ごみ等の出張収集サービスや段ボールコンポストの普及などを進めました。
- 物を大切にする「もったいない」という日本古来の文化を継承した、地球に負荷をかけないライフスタイルを普及させるため、風呂敷の活用や市民からのアイデア募集など、もったいない文化の醸成に取り組みました。
- 自然エネルギーの普及促進や、環境意識の醸成を目的に、住宅用太陽光発電システムの設置費の助成や、教育施設への太陽光発電システムの導入を進めました。

重点目標3 安全な暮らしを守るために

- 多様化・複雑化・大規模化の傾向を強める災害に対応するため、光地区消防組合や光市消防団への資機材の計画的な配備を進めました。
- 高齢者や障害者など、避難時に支援を必要とする要援護者の安全確保のため、「自助」「互助」「共助」を基本とした避難支援体制の整備に取り組みました。
- 消費生活全般に関する苦情や問い合わせに対応するため、本庁舎内に消費生活センターを設置し、専門の相談員を配置しました。
- 市民や有識者等を交えて、室積海岸松原地区の海岸侵食に起因する高潮被害の防止と、白砂青松の自然海岸の保全や周辺景観の維持を両立させるための対策工法等を検討し、保全施設の整備を進めました。

重点目標4 優れた価値を生み出すために

- 急激な景気後退下における緊急的な経済対策として、地元中小事業者が資金調達を行う際の金融支援を行うとともに、市内への事業所設置や雇用の拡大に対する奨励金の拡充など、企業誘致や雇用拡大に努めました。
- 地産地消の推進や生産者と消費者の交流促進など地域農業の振興に加えて、観光や環境、教育などの分野との連携により多角的な機能を発揮できる施設として、農業振興拠点施設「里の厨」を整備しました。
- 国の交付金を活用し、農業集落道や農業用排水施設などの農業基盤づくりを進めるとともに、後継者不足が深刻な問題となっている農業や漁業への新たな就労者の確保対策に取り組みました。

重点目標5 地域の魅力を活かすために

- 関東地方に在住する光市出身者と光市をつなぐ「ふるさと光の会」により、都会における出身者相互の交流の場や、ふるさとへのUターンを支援するための仕組みづくりに取り組むとともに、本市へのU J I ターン情報サイトの充実を図るなど、ホームページ等を活用した積極的な情報発信を行いました。

【ひかり未来指標】

	策定時① (H17. 18)	近況値② (H23)	前 期 目標値 @ (H23)	進捗率 (②/①-1) × 100	達成率 ②/ @ × 100
快適な都市基盤の整備に関する「満足度」 ※（「歩道の拡幅・段差の解消」に関する満足度＋「まちなみ・景観の整備」に関する満足度＋「快適な居住空間の整備（策定時データなし）」に関する満足度）÷ 3（市民アンケート調査）	—	37. 4%	33. 3%	—	112. 3%
上下水道の「普及率」 ※（水道普及率＋下水道普及率）÷ 2	73. 7%	83. 0%	81. 8%	12. 6%	101. 5%
自然環境保全に関する「満足度」 ※「自然環境の保全」に関する満足度（市民アンケート調査）	20. 6%	36. 2%	25. 0%	75. 7%	144. 8%
市民のごみの減量や省エネルギーへの「取り組み」 ※（ごみの分別を行っている人の割合＋省エネルギーに心がけている人の割合（策定時データなし））÷ 2（市民アンケート調査）	—	93. 0%	93. 5%	—	99. 5%
安全・安心に関する「満足度」 ※（「災害対策の充実」に関する満足度＋「防犯対策の充実」に関する満足度＋「交通安全対策の充実」に関する満足度）÷ 3（市民アンケート調査）	14. 0%	31. 7%	18. 3%	126. 4%	173. 2%
市民の防災への「取り組み」 ※普段から災害に備えている人の割合（市民アンケート調査）	32. 8%	47. 6%	50. 0%	45. 1%	95. 2%
市民の地産地消への「取り組み」 ※地元の食材を購入している人の割合（市民アンケート調査）	—	85. 3%	90. 0%	—	94. 8%
産業振興や雇用に関する「満足度」 ※（「中小企業の支援」に関する満足度＋「地場産業の振興」に関する満足度＋「企業誘致・雇用の確保」に関する満足度）÷ 3（市民アンケート調査）	7. 0%	14. 0%	11. 7%	100. 0%	119. 7%
今後の「居住意識」 ※今後もずっと光市で暮らしたいという人の割合（市民アンケート調査）	69. 6%	75. 4%	75. 0%	8. 3%	100. 5%

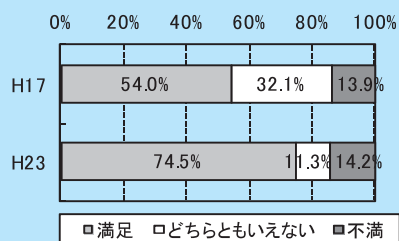
【まちづくりの指標】

	指標の数	達成率（平成 23 年）			
		100%超	80%～100%	50%～80%	50%未満
重点目標 1 快適な暮らしを営むために	2 2	1 0	9	2	1
重点目標 2 自然を守り育むために	1 1	6	3	2	0
重点目標 3 安全な暮らしを守るために	1 6	9	7	0	0
重点目標 4 優れた価値を生み出すために	1 6	8	5	1	2
重点目標 5 地域の魅力を活かすために	6	3	1	2	0
合 計	7 1	3 6	2 5	7	3

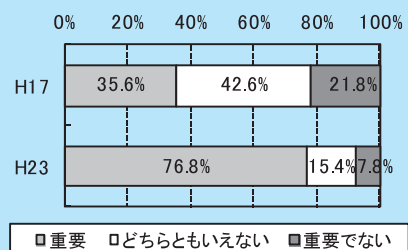
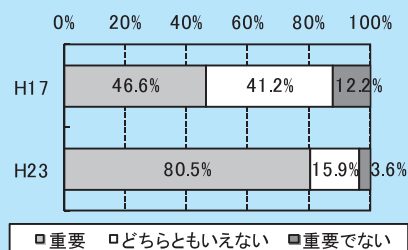
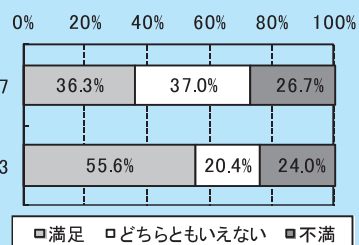
【満足度と重要度の推移】

幹線道路（国道・県道
など）の整備

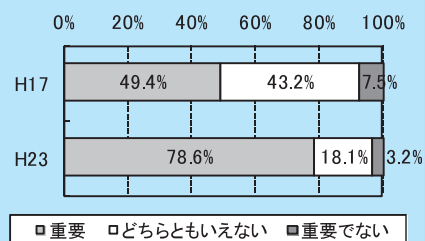
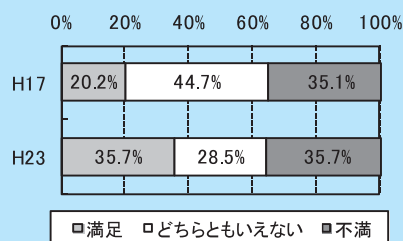
満足度の推移（H17 - H23）



重要度の推移（H17 - H23）

地域の生活道の維持・
補修

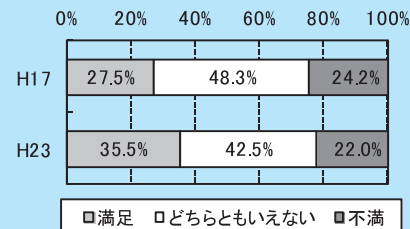
目標値（25.0%）

歩道の拡幅・段差の解
消

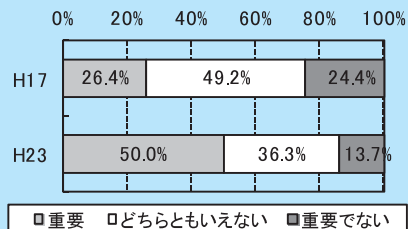
都市公園の整備

満足度の推移 (H17 - H23)

目標値 (30.0%)

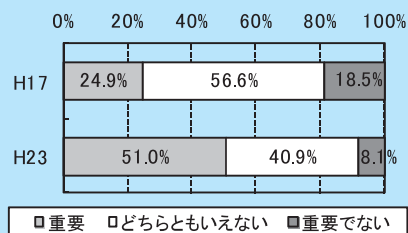
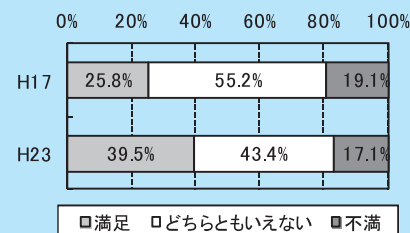


重要度の推移 (H17 - H23)



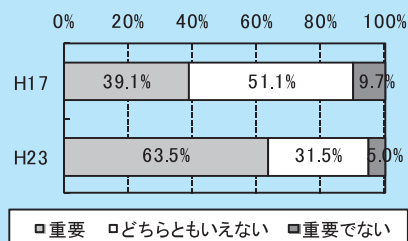
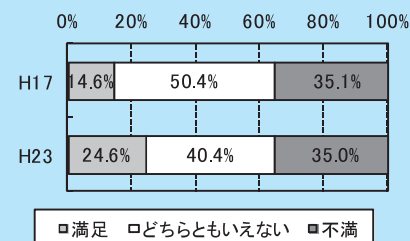
まちなみ・景観の整備

目標値 (30.0%)



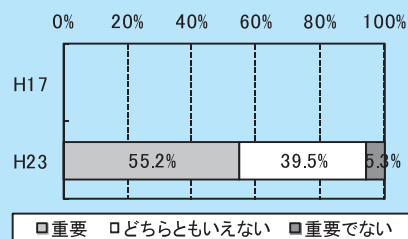
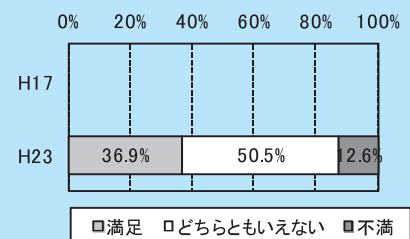
バス交通網の整備

目標値 (20.0%)



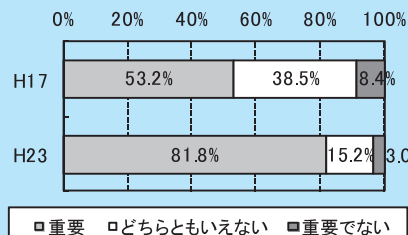
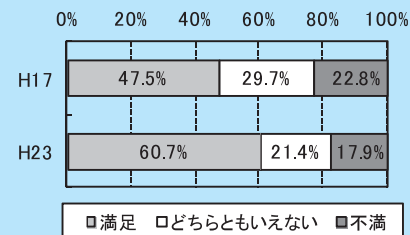
快適な居住空間の整備

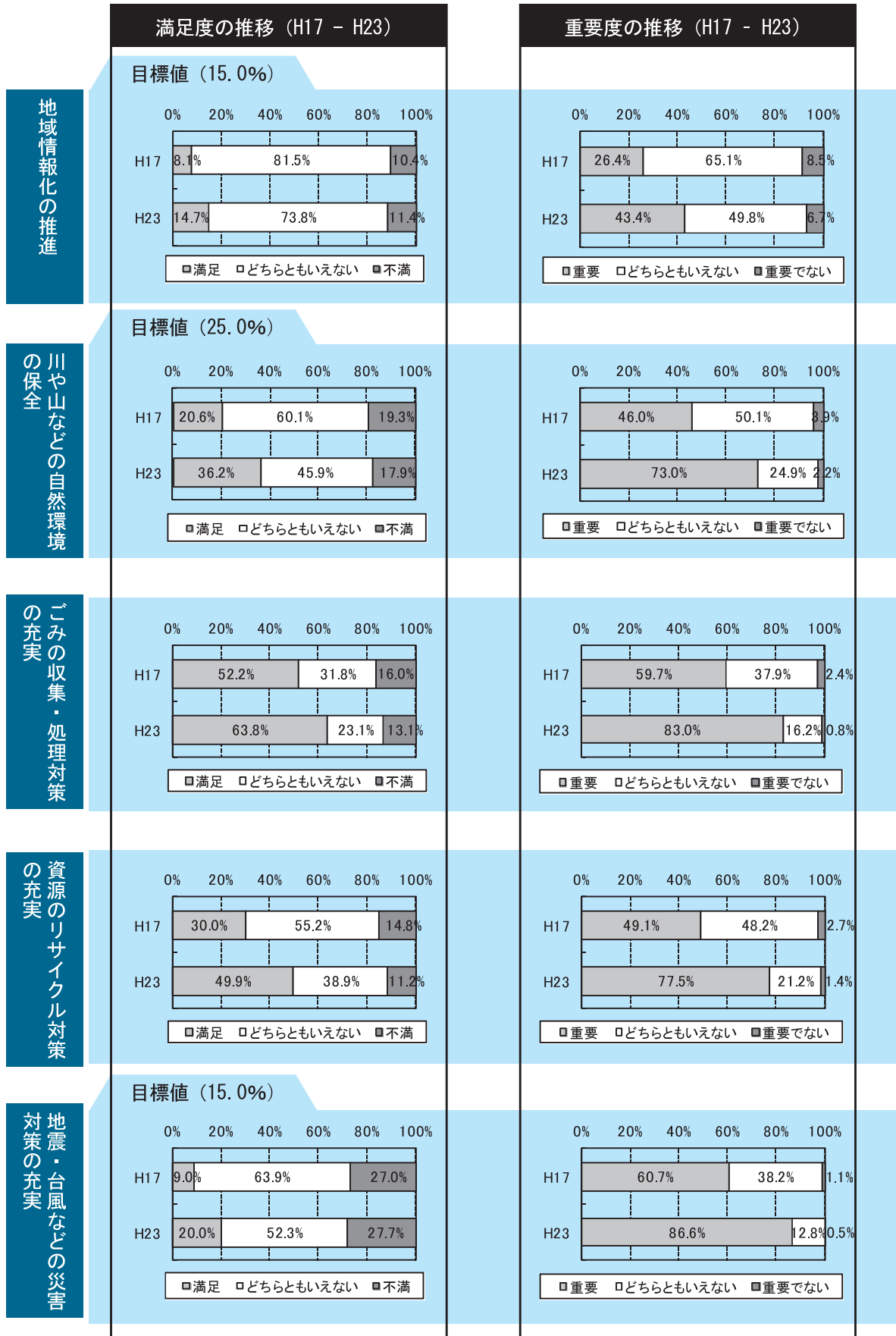
目標値 (45.0%)



上下水道の整備

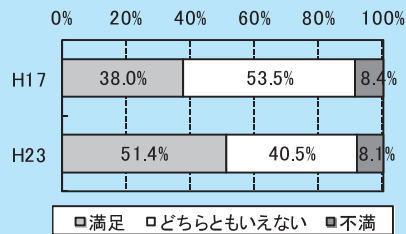
目標値 (45.0%)



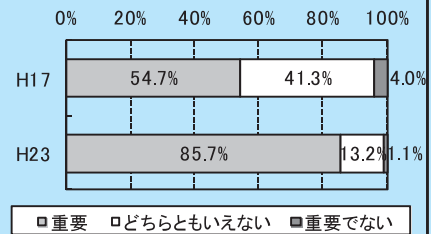


消防・防災体制の充実

満足度の推移 (H17 - H23)

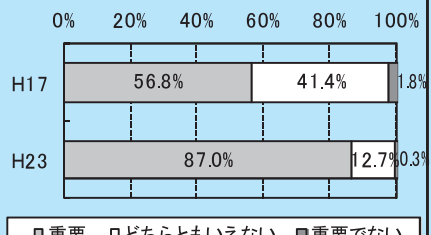
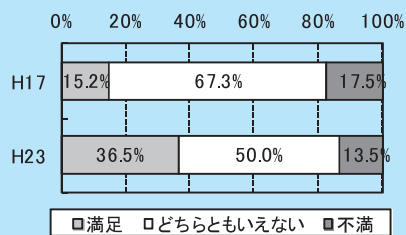


重要度の推移 (H17 - H23)



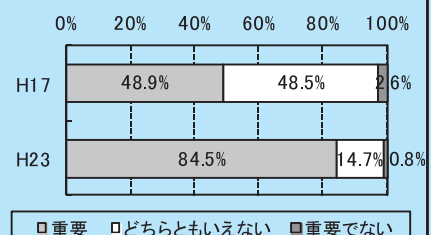
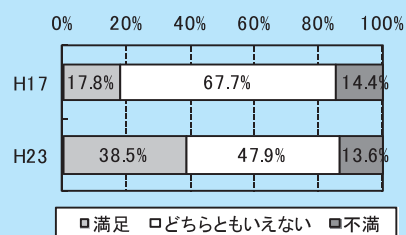
防犯対策の充実

目標値 (20.0%)



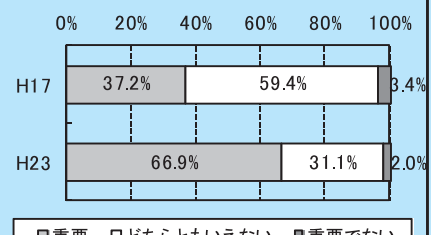
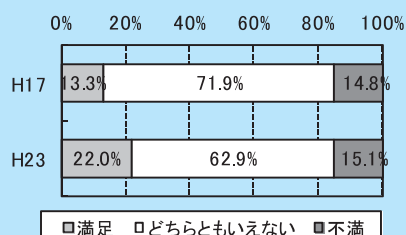
交通安全対策の充実

目標値 (20.0%)

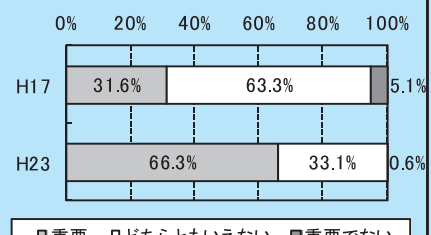
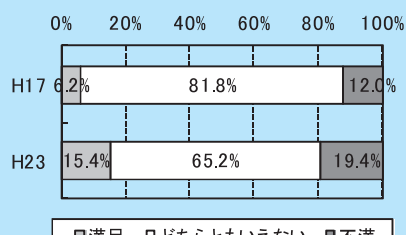


消費生活相談

目標値 (25.0%)



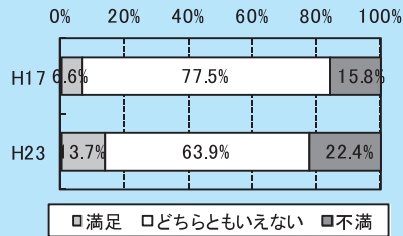
農林水産業の振興



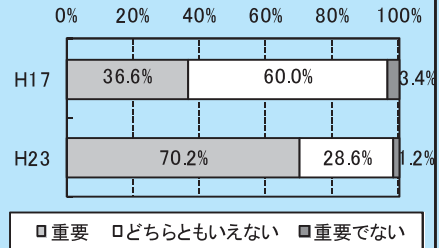
地元中小企業の支援

満足度の推移 (H17 - H23)

目標値 (10.0%)

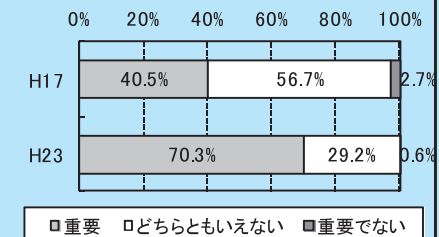
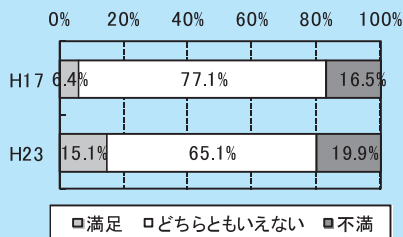


重要度の推移 (H17 - H23)



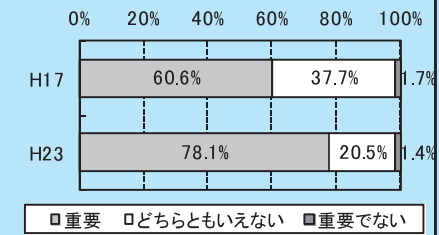
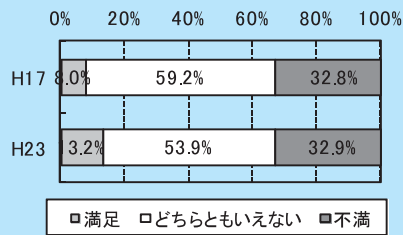
地場産業の振興

目標値 (10.0%)



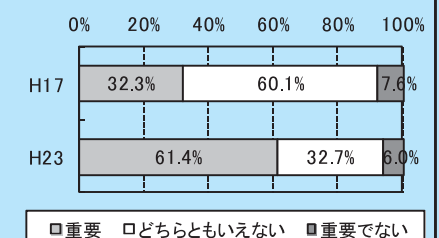
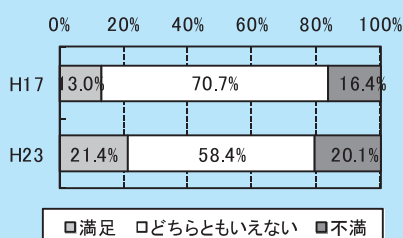
企業誘致・雇用の確保

目標値 (15.0%)



観光の振興

目標値 (20.0%)



【前期5年間の評価】

- 「快適な都市基盤の整備に関する満足度」や「自然環境の保全に関する満足度」は高い水準にあり、本市の特性である都市と自然が調和した都市環境に対して高い評価を得ているものと考えられます。また、まちなみや景観、居住空間の整備、自然環境の保全などを重要と感じる人の割合が大きく高まっていることから、引き続き、市民の期待に応えられる施策を進めていく必要があります。
- 「市民のごみの減量や省エネルギーへの取組み」は、目標値には至っていないものの高い水準にあり、環境に対する市民意識が大変高いことが分かります。また、「ごみの収集・処理対策の充実」や「資源のリサイクル対策の充実」に対する満足度も高まっており、引き続き、市民ニーズに的確に対応した施策を進めていく必要があります。
- 災害対策や防犯対策、交通安全対策など「安全・安心に関する満足度」は、目標値を大きく上回っていますが、その一方で、地震・台風などの災害対策については不満足度が満足度を上回っています。また、重要度も大変高くなっていることから、防災や減災に向けた取組みを強化していく必要があります。
- 「市民の防災への取組み」は目標値をわずかに下回る水準ですが、「自助」「互助」「共助」に基づく防災思想の普及が重要であることから、関係機関との連携のもと、地域における自主防災組織の育成や支援などを進める必要があります。
- 「産業振興や雇用に関する満足度」は目標値を上回る水準にあるものの、個々の要素を見ると、不満足度が満足度を大きく上回っています。また、農林水産業の振興についても同じことが言えることから、有効な対策が求められます。

「ひかり未来指標」は「市民のごみ減量や省エネルギーへの取組み」や「市民の防災への取組み」など目標値にわずかに到達していない項目もありますが、全体的には目標値をほぼ達成しています。「まちづくりの指標」は、全体の8割以上の61項目で達成率が80%を超えており、全体的には目標に沿って概ね順調にまちづくりが進んでいると言えますが、「産業振興や雇用」に関連する項目や「地震・台風などの災害対策」などについては不満足度も高くなっており、有効な対策が求められます。

4 基本目標Ⅳ 時代を拓く新たな都市経営

【前期5年間の主な成果】

重点目標1 信頼と協働の都市経営を目指して

- 市政への市民参画を促進するため、計画等の策定過程におけるパブリックコメント制度の創設や、各種審議会等での公募委員の拡充、女性の登用を推進するとともに、各種審議会等での審議内容に関する情報公開を進めました。
- 市民に開かれた市政を実現するため、市民の求めに応じて地域に出向く対話集会を実施するとともに、市長室で自由に語り合う常設の広聴制度を創設し、多くの市民との対話を進めました。
- 市民に親しまれる市役所を目指して、窓口での主な行政手続きを一覧できるガイドの作成や、職員研修の一環として、管理職員等による庁舎総合案内（コンシェルジュ）に取り組みました。

重点目標2 自立と連携の自治体を目指して

- 山口県市長会や全国市長会等を通じて、国・県等への要望活動を行うとともに、旅券発行事業など市民ニーズに応じた権限移譲事務の受け入れにより、市民サービスの向上に努めました。

重点目標3 持続可能な行財政運営を目指して

- 市債発行の抑制や高利率の市債の借り換え、内部事務経費を中心とした経常的経費の削減のほか、特別職・一般職職員の給与の見直しや市交際費の縮減などを進めました。
- 自主財源の確保や受益者負担の適正化のため、税や使用料等の収納率の向上対策のほか、遊休公有地の処分、各種使用料・手数料の見直しを計画的に進めました。
- 組織・体制のスリム化や、より質の高いサービスの提供と経費の節減を目的に、可燃ごみ収集業務の一部や光学校給食センターの調理・配送業務の民間委託を行うとともに、公の施設の管理の担い手をNPOや民間事業者等の多様な主体に拡大しました。

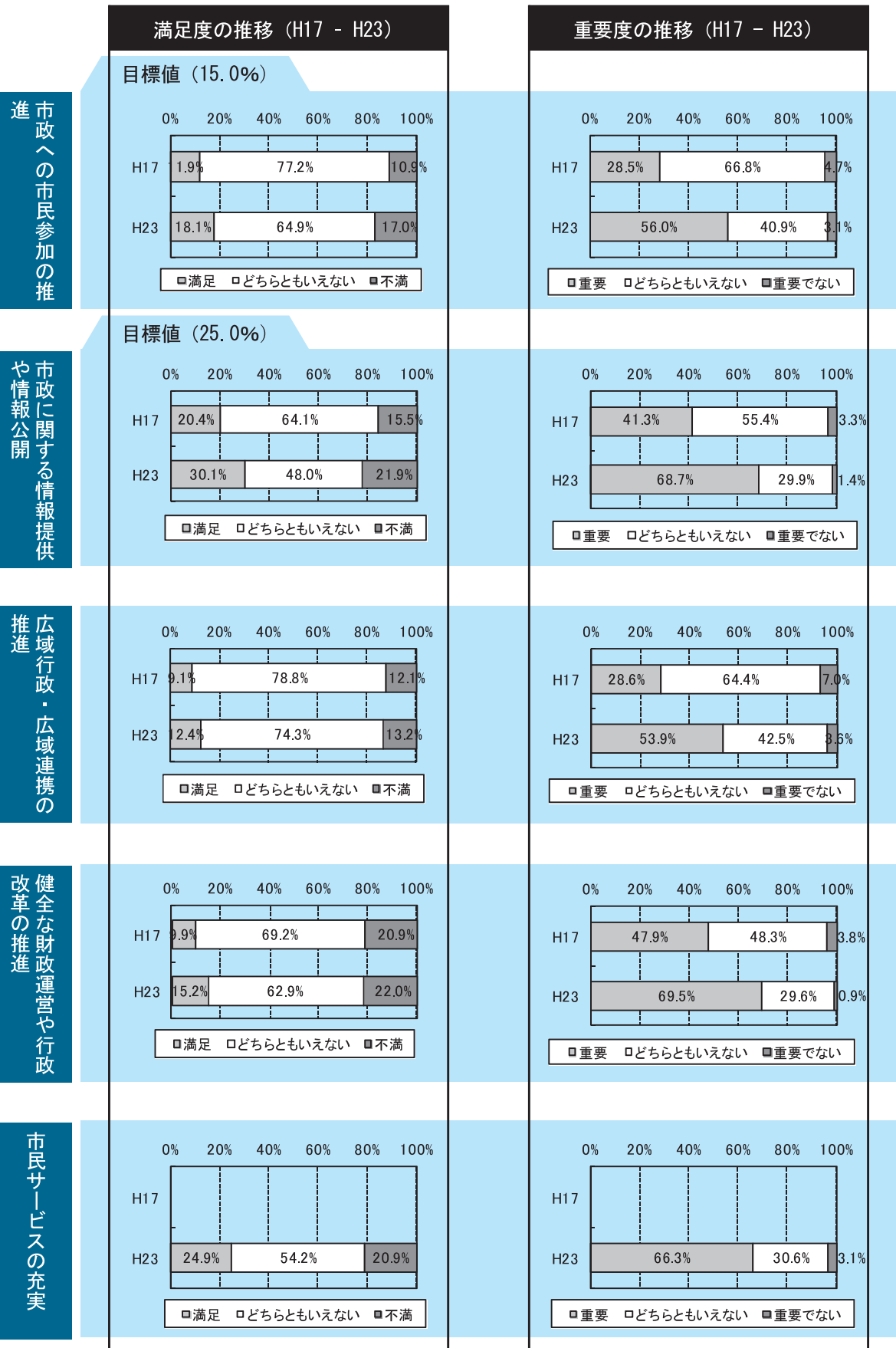
【ひかり未来指標】

	策定時① (H17. 18)	近況値② (H23)	前 期 目標値 @ (H23)	進捗率 (②/①-1) × 100	達成率 ②/① × 100
市政への「関心度」 ※市民の市政に対する関心度（大変関心がある＋まあまあ関心がある）（市民アンケート調査）	72. 7%	74. 9%	75. 0%	3. 0%	99. 9%
市政への市民参加に関する「満足度」 ※（「市民意見がまちづくりに反映されている」と思う人の割合＋「市政への市民参加の推進」に関する満足度）÷ 2（市民アンケート調査）	20. 1%	20. 6%	25. 0%	2. 5%	82. 4%
情報提供・公開に関する「満足度」 ※「情報提供や情報公開」に関する満足度（市民アンケート調査）	20. 4%	30. 1%	25. 0%	47. 5%	120. 4%
市民アンケートの回収率 ※策定時の値は市民アンケート2種類の平均（市民アンケート調査）	37. 4%	41. 6%	40. 0%	11. 2%	104. 0%
経常収支比率	91. 6%	91. 9%	90%未満	△0. 3%	97. 9%
実質公債費比率 ※3か年平均	22. 4%	14. 6%	18%未満	53. 4%	123. 3%
市税収納率	95. 9%	94. 5%	96. 5%	△1. 5%	97. 9%
市民サービスに関する「満足度」 ※「市民サービスの充実」に関する満足度（市民アンケート）	—	24. 9%	30. 0%	—	83. 0%

【まちづくりの指標】

	指標の数	達成率（平成 23 年）			
		100%超	80%～100%	50%～80%	50%未満
重点目標 1 信頼と協働の都市経営を目指して	7	5	1	1	0
重点目標 2 自立と連携の自治体を目指して	3	0	2	0	1
重点目標 3 持続可能な行財政運営を目指して	8	3	3	2	0
合 計	1 8	8	6	3	1

【満足度と重要度の推移】



【前期5年間の評価】

- 「市政への市民参加の推進」を重要と考える人の割合や「市政への関心度」は高くなっていますが、「市政への市民参加に関する満足度」は目標値に比べて低い水準にあります。このため、市政に対する市民の高い関心や意欲に応えられる効果的な取組みが求められます。
- 「情報提供・公開に関する満足度」は、目標値を上回っていますが、一方で不満と考える人の割合も増加していることから、情報の提供や公開のあり方について点検を加えていく必要があります。
- 本市独自のルールに基づく市債発行の抑制などにより、「実質公債費比率」は着実に改善していますが、財政運営の弾力性を示す「経常収支比率」は、法人市民税などの経常一般財源の減少などにより数値が上昇しています。このため、「財政健全化計画」や「行政改革大綱」等を踏まえた計画的な取組みを進めていく必要があります。
- 市税収納率については、昨今の景気低迷等により低下傾向にあることから、引き続き、向上対策に努めていく必要があります。
- 「市民サービスに関する満足度」が目標値に到達していないことから、よりの確な市民ニーズの把握に努めるとともに、効果的な広報活動や情報発信に取り組むなど、市民とのコミュニケーションのあり方について工夫を加える必要があります。

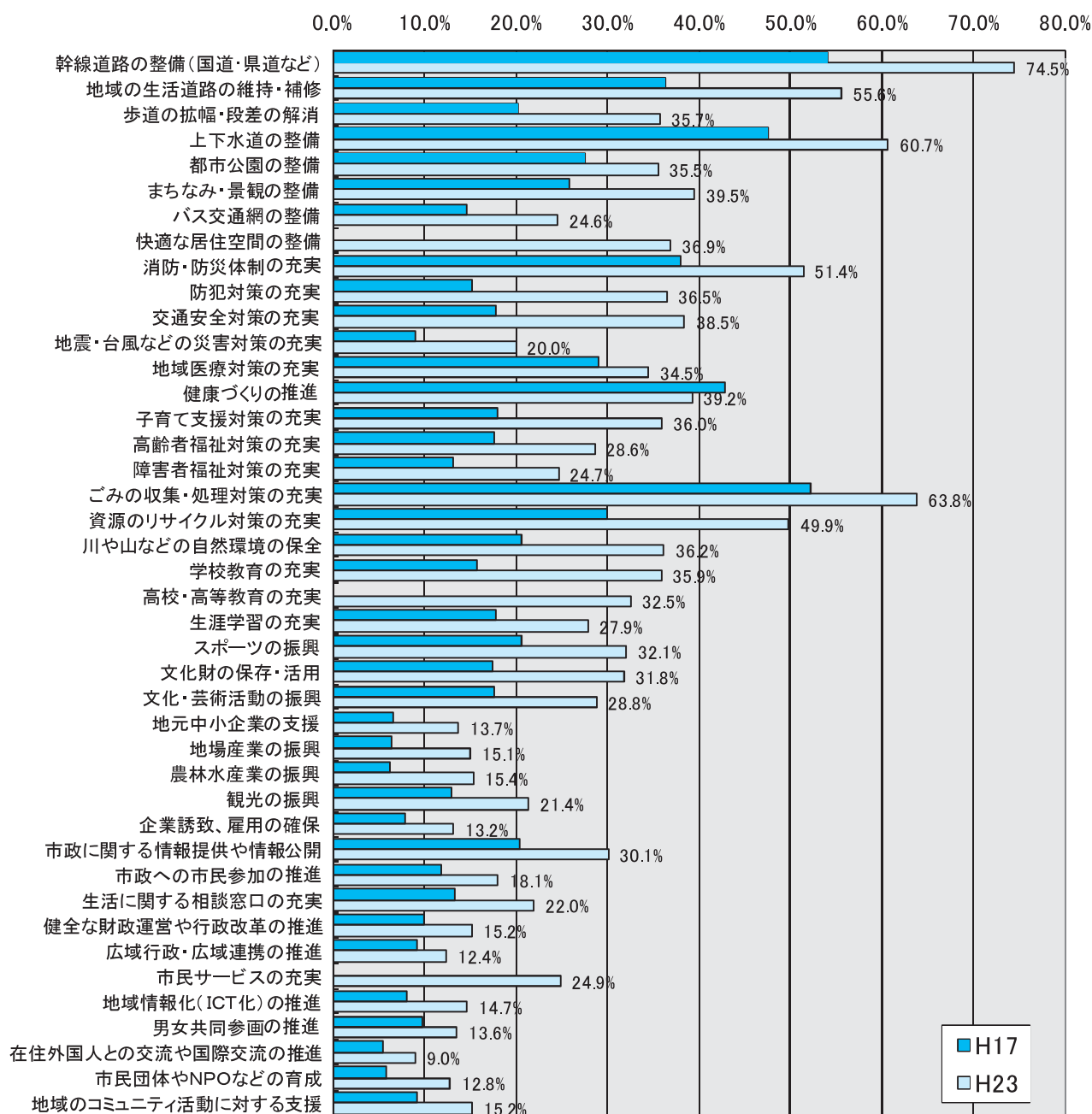
「ひかり未来指標」は、「市政への市民参加に関する満足度」などに対する評価が低く、結果的に「市民サービスに関する満足度」も目標値に到達していません。また、「まちづくりの指標」は、8割近くの項目で達成率が80%を超えていますが、このうち「市民意見がまちづくりに反映されている」と思う人の割合は23.1%と、前期目標に対する達成率が66%に留まっています。こうしたことから、今後は、より市民本位の行政運営に心掛けるなど、市民との信頼を深めていくことが求められます。

5 市政に対する満足度とニーズ

(1) 42施策の市民満足度

市政に関わる42施策について、「満足」あるいは「やや満足」と回答した人の割合は、ほとんどの施策で策定時よりも上昇し、特に、道路や上下水道整備などの都市基盤整備やごみ対策などの環境分野で満足度が高くなっていますが、「地元中小企業の支援」などの産業分野では満足度が低い水準に留まっています。

【42施策の市民満足度の比較（H17 - H23）】



※「快適な居住空間の整備」「高校・高等教育の充実」「市民サービスの充実」はH17 調査で未実施

(2) 市民からの取組みニーズ

満足度が低く重要度が高い施策は、市民からの取組みニーズが高い施策と捉えられます。その年次的な推移を見ると、「企業誘致、雇用の確保」、「地域医療対策の充実」、「地震・台風などの災害対策の充実」に対するニーズが常に高いことがわかります。

【ニーズ度（H19 - H23）】

	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
H19	31. 企業誘致、雇用の確保 (1.48)	13. 地域医療対策の充実 (1.44)	16. 高齢者福祉対策の充実 (1.31)	12. 地震・台風などの災害対策の充実 (1.25)	35. 健全な財政運営や行政改革の推進 (1.25)
H20	13. 地域医療対策の充実 (1.66)	31. 企業誘致、雇用の確保 (1.54)	35. 健全な財政運営や行政改革の推進 (1.37)	16. 高齢者福祉対策の充実 (1.35)	12. 地震・台風などの災害対策の充実 (1.31)
H21	31. 企業誘致、雇用の確保 (1.68)	13. 地域医療対策の充実 (1.40)	12. 地震・台風などの災害対策の充実 (1.27)	16. 高齢者福祉対策の充実 (1.20)	7. バス交通網の整備 (1.13)
H22	13. 地域医療対策の充実 (1.65)	31. 企業誘致、雇用の確保 (1.61)	12. 地震・台風などの災害対策の充実 (1.28)	16. 高齢者福祉対策の充実 (1.28)	3. 歩道の拡幅・段差の解消 (1.11)
H23	12. 地震・台風などの災害対策の充実 (1.51)	13. 地域医療対策の充実 (1.45)	31. 企業誘致、雇用の確保 (1.39)	3. 歩道の拡幅・段差の解消 (1.11)	35. 健全な財政運営や行政改革の推進 (1.11)

● ニーズ度 = 重要度（加重平均値）－ 満足度（加重平均値）

市民意見をよりの確に反映した相対的な比較ができるよう、満足度と重要度の回答結果をそれぞれ次の計算方法による加重平均値を用いています。

選択肢	満足 / 重要	やや満足 / どちらかといえ ば重要	どちらとも いえない	やや不満 / どちらかといえ ば重要でない	不満 / 重要で ない
点 数	+ 2	+ 1	0	- 1	- 2
回答数	A	B	C	D	E

● 加重平均値 = $\{(A \times 2) + (B \times 1) + (C \times 0) + (D \times -1) + (E \times -2)\} \div \text{回答数}$